

現代インドネシア文学を代表する作家 エカ・クルニアワン氏が来日！ ～東京・福島で講演会・トークイベントを開催～

国際交流基金（JF）は、京都文学レジデンシーと共同で、現代インドネシア文学を代表する作家のひとりである**エカ・クルニアワン（Eka Kurniawan）氏**を 10 月 3 日から招へい中です。同氏は、11 月 1 日に同レジデンシーのクロージング・イベントへの参加に加え、11 月 6 日に上智大学（東京）で講演会、11 月 8 日に福島県南相馬市にて作家・柳美里氏とのトークイベントに登壇する予定です。

エカ・クルニアワン氏は 1975 年インドネシア西ジャワ州タシクマラヤ生まれ、ガジャ・マダ大学哲学部卒。インドネシアの歴史に刻まれた傷跡を、マジックリアリズムの手法を用いて力強く描いたデビュー長編小説『美は傷』（2002 年）は、世界 35 か国以上で翻訳出版されています。2016 年に『Man Tiger』（2004 年）でマン・ブッカー賞（現・国際ブッカー賞）の候補に名を連ね、2018 年にはオランダの国際文化賞であるプリンス・クラウス賞を受賞。文学評論家、コラムニストとして国内外のメディアで精力的に執筆活動続けるほか、海外小説をインドネシア語で翻訳出版する出版社 Moooi Pustaka を主宰し、英語圏以外の文学をインドネシアに紹介する活動にも力を注いでいます。



今回の来日では、京都にて各国の作家や翻訳家との交流や創作活動を行うほか、講演や対談を通じて、日本の読者や文芸関係者と、現代社会における文学の役割や可能性について対話を深めます。

本招へいは、日本と ASEAN 間における次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「**次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－**」の一環として実施する「**文芸対話プロジェクト“YOMU”事業**」によるものです。

滞日期间中にエカ・クルニアワン氏への取材・インタビューが可能です（日英の通訳を手配します）。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

事業概要

【招へい期間】 2026 年 10 月 3 日～11 月 11 日

※10 月 3 日～11 月 2 日の期間は、「国際交流基金 ASEAN 文芸フェロー」として京都文学レジデンシーに参加
2026 Kyoto Writers Residency 05 - Kyoto Writers Residency

【一般公開事業】

京都文学レジデンシー クロージング・イベント（朗読会）

2026 年 11 月 1 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分

会場：香老舗 松栄堂・薫習館 KARANI ホール（京都市中京区烏丸通二条上ル東側）

言語：トーク通訳あり

参加方法：無料、先着順、事前申込優先（定員 60 名）

申込：2026 Kyoto Writers Residency 05 - Kyoto Writers Residency

主催：京都文学レジデンシー

特別協力：国際交流基金

変容するインドネシアと現代文学の射程

2026 年 11 月 6 日（金）18 時 00 分～20 時 00 分

会場：上智大学四谷キャンパス（東京都千代田区紀尾井町 7-1）

言語：インドネシア語（逐次通訳付き）

講演者：ラティ・クマラ、エカ・クルニアワン

参加方法：無料、事前登録制

申込・詳細：https://dept.sophia.ac.jp/is/iac/news/docs/news20261002_644101822.html

主催：上智大学アジア文化研究所

協力：国際交流基金

エカ・クルニアワン × 柳美里 『美は傷』をめぐる対話

2026 年 11 月 8 日（日）14 時 30 分～17 時 00 分（開場 14 時 00 分）

会場：Rain Theatre（福島県南相馬市小高区東町 1-10）

言語：日本語（英語から日本語への逐次通訳付き）

参加方法：有料、事前登録不要

※『美は傷』（春秋社）を持参の方は無料参加可能

共催：国際交流基金、フルハウス

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－について

「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」、「日本語教育」、「日本研究・国際対話」を通じて国際文化交流を推進する独立行政法人です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

日本語パートナーズ事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

以上